

# 準備学習ポイント一覧

科目名	成人看護学 援助論Ⅰ	教員名	日向野香織・岡嶋妙子 吉田和美・宮本まり子 須田香奈子	学科/区分	看護 必修	履修年次	2
授業計画	回	授業項目	準備学習キーワード 使用教科書掲載箇所(ページ等)				
	1	慢性疾患を有する人とその家族への援助・支援の方法	キーワード: 病みの軌跡、セルフケア理論、自己効力感、トランスセオレティカルモデル 南江堂 慢性期看護論 第Ⅲ章1. 「治療・療養行動にかかわる主な理論・概念」p58～67				
	2	身体防機能障害のある患者の看護①	キーワード: 自己免疫疾患、ステロイド療法、全身性エリテマトーデス、再燃、寛解、増悪因子 南江堂 慢性期看護論 改訂第3版:p.133～148、390～397				
	3	消化・吸収機能障害のある患者の看護	キーワード: 指定難病、潰瘍性大腸炎、クローン病、食事(栄養)療法 南江堂 慢性期看護論 改訂第3版:p.394～306、メヂカルフレンド社 成人看護技術(慢性期):p.89～112				
	4	栄養代謝機能障害のある患者の看護	キーワード: 慢性肝炎、肝硬変、門脈圧亢進症状、膵炎、代償期、非代償期、食事(栄養)療法 南江堂 慢性期看護論 改訂第3版:p.270～277、メヂカルフレンド社 成人看護技術(慢性期):p.89～112				
	5	呼吸機能障害のある患者の看護	キーワード: 呼吸困難(感)、ガス交換障害、肺気腫、呼吸不全、COPD、在宅酸素療法 南江堂 慢性期看護論 改訂第3版:p.207～222、メヂカルフレンド社 成人看護技術(慢性期):p.48～69				
	6						
	7	循環機能障害のある患者の看護	キーワード: 循環機能障害と主な身体症状、心不全、不整脈、拡張型心筋症 メヂカルフレンド社 成人看護学③ 循環器 第2編第1章「看護の基本」p322～p326 第1編第4章「主な循環器疾患の診療」心不全・不整脈:p176～p208、拡張型心筋症:p253～255				
	8						
	9	脳・神経機能障害のある患者の看護	キーワード: 難病、筋委縮性側索硬化症(ALS)、喪失体験、意思決定支援 南江堂 慢性期看護論 改訂第3版:p.412～427、メヂカルフレンド社 成人看護技術(慢性期):p.141～149				
	10	内部環境調整機能障害のある患者の看護	キーワード: 内部環境調整機能障害と主な身体症状、慢性腎臓病、慢性腎不全 メヂカルフレンド社 成人看護学⑦腎・泌尿器 第2編第1章「看護の基本」p252～256 第1編第4章「疾患と治療」急性腎障害・慢性腎臓病 p165～176				
	11						
	12						
	13	内分泌調整機能障害のある患者の看護	キーワード: 内分泌機能障害と主な身体症状、甲状腺機能亢進症・低下症、糖尿病 メヂカルフレンド社 成人看護学⑧内分泌/栄養・代謝 内分泌 第1編第1章「構造と機能」p16、第4章「甲状腺疾患」p114～120 栄養・代謝 第1編第2章「症候と病態生理」p274～278、第4章「疾患と治療」p286～333				
	14	患者教育と指導	キーワード: セルフマネジメント、アンドラゴジー、患者指導 南江堂 慢性期看護論 第Ⅲ章2. 「治療・療養を促進する支援」p67～87				
	15	看護技術演習①	演習ガイダンスで別途指示します。				
	16	看護技術演習②					
	17	看護技術演習③					
	18						
	19	看護技術演習④					
20							

21	看護技術演習⑤	
22		
23	看護技術演習⑥	
24		
25	がん治療を必要とする人の看護	キーワード: 転移・浸潤、全人的苦痛、がんサバイバーシップ、スピリチュアリティ メヂカルフレンド社、成人看護技術 がん・ターミナルケア: 第 I 章「がん看護の特徴」p.1～30
26		
27	放射線療法、化学療法を受ける患者への看護	キーワード: 化学療法、放射線療法 南江堂 慢性期看護 第IV章 5. A 「化学療法の基礎知識」p149～155 南江堂 慢性期看護 第IV章 6. A 「放射線療法の基礎知識」p163～165
28	身体防御機能障害のある患者の看護②	キーワード: 造血幹細胞移植、造血機能障害と主な身体症状、白血病 南江堂 慢性期看護論 第IV章 7. A 「造血幹細胞移植の基礎知識」p172～176 メヂカルフレンド社 成人看護学④血液・造血器 第1編第4章「疾患とその治療」p123～133
29	人生の最期の時を迎える人への看護(外部講師)	別途指示します。
30		
教員からのメッセージ		既習の人体の構造・機能、病態・治療論の知識を習得していないと理解が困難な内容です。講義進度も早い ため、予習・復習など、積極的な自己学習が重要です。授業課題につきましては、事前に別途指示します。